

〈日本組織適合性学会誌 MHC の投稿規定〉

1. 投稿規定

1.1. 原稿様式

提出原稿がそのまま電算写植で印刷できるように、原稿は全て、コンピューターのフロッピーディスクとA4サイズでプリントアウトしたものの両者を提出する。一般的なワープロソフトを使用し、ソフト名を明記する。字体、サイズ、行の字数、行間、などの体裁は自由とする。また、図表については、写植でそのまま掲載できるものを提出するが、挿入箇所を本文に指定する。図については天地を明示する。印刷の際に、縮小または拡大する場合があるので、考慮すること。また、図表の題や説明はワープロで、本文とは別頁に添付する。

1.2. 原著論文

会員からの投稿を原則とするが、編集委員会が依頼することもありうる。日本語、英語を問わない。タイトル、著者名、所属は次の様式にしたがう。

Serological and nucleotide sequencing analysis of a novel DR52-associated DRB1 allele with the DR'NJ25' specificity. designated DRB1 * 1307.

Toshihiko Kaneshige¹⁾, Mitsuo Hashimoto²⁾, Yayoi Murayama¹⁾, Tomoko Kinoshita²⁾, Tsutomu Hirasawa¹⁾, Kiyohisa Uchida¹⁾, Hidetoshi Inoko³⁾

- 1) Shionogi Biochemical Laboratories, Shionogi Company, Osaka, Japan
- 2) Kidney Transplantation Center, Hyogo Prefectural Nishinomiya Hospital, Hyogo, Japan
- 3) Department of Molecular Life Science, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan

HLA class II の DNA typing と MLC

能勢 義介¹⁾, 稲葉 洋行¹⁾, 荒木 延夫¹⁾, 浜中 泰光¹⁾, 阪田 宣彦¹⁾, 土田 文子²⁾, 辻 公美²⁾, 成瀬 妙子³⁾, 猪子 英俊³⁾

- 1) 兵庫県赤十字血液センター, 検査課
- 2) 東海大学医学部, 移植免疫学
- 3) 東海大学医学部, 分子生命科学

内容は、要約 (Summary)、はじめに (Introduction)、材料と方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、参考文献 (References) の順に記載する。また、要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを加える (英文の場合には英語の Key words を加える)。脚注は適宜、設けてもよい。日本語で投稿の場合には、末尾に英語のタイトル、著者名、所属(様式は上述に従う)、英語の要約と英語で5語以内の Key words をつける。枚数に特に指定はないが、速報的な短報 (全体で、2,000 ~ 3,000 字、出来上がり A4 版で2~4枚程度) を中心とする。もちろん、フルペーパー (full paper) も歓迎する。なお、参考文献 (References) の記載については、下記1.5を参照すること。

1.3. 総説、シリーズその他

編集委員会からの依頼を原則とするが、会員からの投稿も大いに歓迎する。日本語を原則とする。タイトル、著者名、所属は上記1.2.の通りにしたが、その他の体裁は自由とするが、構成がいくつかの章、節などから成る場合には、次の番号に従い、適当な見出しを添える。

1. 2. 3. 4.
- 1.1. 1.2. 1.3. 1.4.
- 1.1.1. 1.1.2. 1.1.3. 1.1.4.
4.

脚注は適宜、設けてもよい。なお、参考文献 (References) の記載については、下記1.5.を参照すること。

1.4. 校正

校正は編集委員が行い、特別な場合を除き、執筆者は校正を行わない。

1.5. 参考文献

参考文献は、本文中に数字で、例えば (3), の様に表示し、末尾にまとめて、次のようなスタイルで記載する。ただし、著者名、または編集者名は、筆頭3名まで記載し、以下は省略する。

1. Kaneshige T, Hashimoto M, Murayama A *et al.* : Serological and nucleotide sequencing analysis of a novel DR52 - associated DRB1 allele with the DR'NJ25' specificity designated DRB1 * 1307. *Hum. Immunol.* **41** : 151-160, 1994.
2. Inoko H, Ota M : *Handbook for HLA Tissue - Typing Laboratories* (eds. Bidwell J, Hui KM), PCR - RFLP. CRC Press, Boca Raton, 1993; p.1-70.
3. 能勢義介, 稲葉洋行, 荒木延夫ら : HLA class II の DNA Typing と MLC, 輸血, **39** : 1031-1034, 1993.
4. 猪子英俊, 木村彰方 : 岩波講座分子生物学11巻, 生物体のまもりかた (本庶佑編), 自己と他の識別, 岩波書店, 東京, 1991; p.129-194.

2. 原稿送付先

〒259-11 神奈川県伊勢原市望星台
東海大学医学部 分子生命科学系遺伝情報部門 日本組織適合性学会誌 MHC
編集長 猪子 英俊
TEL: 0463-93-1121 内線2312
FAX: 0463-94-8884

編集後記

日本組織適合性学会も第4回大会を迎えた。第4回という数字は一つの転機であるといえよう。詩の構成になぞらえて、「起承転結」を考えるならば、第1回から第3回は「起」に相当するのではないだろうか。そうすると、第4回以降は、いよいよ本論である「承」の部分に入らなければならない。HLA学の「承」来の礎となる活発な議論を期待したい。

(大谷 文雄)

臨床医学から基礎科学にわたるさまざまな分野で、MHCほど広い関心を集めている対象は少ないと思います。本誌がその多様な世界を学会員の方々に提示することで、また新しい仲間を得る一助となれば幸いです。さて、本号では大会抄録に加えて、初めて原著論文が掲載されています。今後も、短報、preliminary report、あるいはちょっとした改良や工夫などから full article まで、会員の方々の積極的な投稿をお願いいたします。(徳永 勝士)

本誌の読者の多くは、いわゆる現場の tissue typer の方々とお見受けします。かくいう私もそのひとりであります。実は、編集後記2回目にして早くもネタ切れ状態に陥っているので、tissue typer 向けに何か連載ものを企て、その場を凌ごうという魂胆です。

そこで取り上げるのが“International Cell Exchange”，いわゆる、テラサキの Cell Exchange です。ちなみに、この UCLA Tissue Typing Lab. 発の企画には他に血清と DNA の exchange もあります。

さて Cell Exchange ですが、世界中で約280の Tissue Typing Lab. が参加しています。毎月、T cell 4本と B cell line 2本が年間10回送られてきて、これらをテクニックと知識を駆使してタイピングし、期間内に報告するわけですが、なかなか競争心をあおる仕組になっています。まず、報告したタイピング結果がすべて名前入で公表されてしまう点です。いいかげんな結果を記入すると「あのひとは

あの程度か」という烙印を押されてしまうし、自分ができて他ができていない時はえも言われぬ優越感を味わえるわけです。そして、1年間のデータをまとめて、全問正解と1問のみ不正解の場合は、年間レポートのトップに大々的に名前が載ることになります。しかし、みなさん勘違いしないでください。Cell Exchange の目的は名を売ることではなく、各 Tissue Typing Lab. の quality control にあります。また、毎月返送されてくるレポートには最新情報が満載されていて、これに刺激を受けさらに向上する努力をするようになります。今回はその内容についてももう少し詳しく触れてみたいと考えていますが、編集後記で勝手にシリーズものをやるなど編集長のお怒りを買うかもしれないので、次回についての保証は何もありません。(中島 文明)

MHC

Major Histocompatibility Complex

Official Journal of The Japanese Society for Histocompatibility and Immunogenetics

1995年7月1日発行 2巻1号, 1995

定価 2,000円

発行 日本組織適合性学会 (会長 吉田孝人)

編集 日本組織適合性学会編集委員会 (編集担当理事 猪子英俊)

日本組織適合性学会事務局 (事務会計担当理事 十字猛夫)

〒150 東京都渋谷区広尾4-1-31 日赤血液センター内

印刷・港北出版印刷㈱

〒150 東京都渋谷区渋谷2-7-7